

日本農業気象学会 2010 年度評議員会 議事要旨

日 時：2011 年 3 月 17 日（木）11:30～12:45

場 所：鹿児島大学農学部 共通棟 1 階 101E 室

出席者（敬称略）

評議員：青野，石黒，荊木，大上，佐瀬，谷（宏），原菌，廣田，横山，脇山

支部長：浦野，北野，北宅，関，田中丸，林，皆川

理 事：青木（副会長），大政（副会長），朝倉，五十嵐，小沢，黒瀬，小林，菅谷，田中，平野，星，
町村，松岡

監 査：奥島

1. 2010 年度活動報告

1.1 事務・事業報告 → 報告通り承認された。

1.1.1 役員等の交代

1.1.2 会員数の動向

1.1.3 研究集会・会議等の開催

1.1.4 各種事業の推進

1.1.5 編集委員会活動報告

1.1.6 学会賞審査委員会報告

1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告

1.1.8 特別委員会等の設置および活動

1.1.9 関連学協会委員

1.1.10 支部活動報告

1.1.11 研究部会活動報告

1.2 規程の制定

1.2.1 研究部会規程 → 報告通り承認された。

1.3 規程の改正

1.3.1 日本農業気象学会賞規程 → 報告通り承認された。

1.3.2 編集委員会規程 → 文言を一部修正して承認された。

1.3.3 投稿規程 → 報告通り承認された。

1.4 2010 年度一般会計決算報告 → 報告通り承認された。

1.5 会計監査報告

1.6 2011-2012 年度役員選出状況

2. 審議事項

2.1 2010 年度剰余金処分 → 提案通り承認された。

2.2 2011 年度事業計画 → 提案通り承認された。

2.3 2011 年度一般会計予算 → 提案通り承認された。

2.4 日本農業気象学会会則改正

2.4.1 会誌「農業気象」の英文化に関する会則（第 2 章 事業 第 5 条）→ 提案通り承認された。

2.4.2 終身会費制度に関する会則（第 4 章 会員 第 8 条）→ 提案通り承認された。

2.4.3 会員名簿に関する会則（第 4 章 委員会 第 10 条）→ 提案通り承認された。

<上記の報告・審議事項の内容は、「日本農業気象学会 2011 年度総会資料」に掲載しています。>

日本農業気象学会 2010 年度 評議員会資料

日 時 : 2011 年 3 月 17 日 (木) 11:30~12:45

場 所 : 鹿児島大学農学部 共通棟 1 階 101E 室

鹿児島市郡元 1 丁目 21 番 24 号

日本農業気象学会 2010 年度評議員会 議事次第

開 会

会長挨拶

1. 2010 年度活動報告

1.1 事務・事業報告（案）

1.1.1 役員等の交代	2
1.1.2 会員数の動向	2
1.1.3 研究集会・会議等の開催	2
1.1.4 各種事業の推進	2
1.1.5 編集委員会活動報告	3
1.1.6 学会賞審査委員会報告	4
1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告	4
1.1.8 特別委員会等の設置および活動	5
1.1.9 関連学協会委員	5
1.1.10 支部活動報告	6
1.1.11 研究部会活動報告	7

1.2 規程の制定

1.2.1 研究部会規程	8
--------------	-------	---

1.3 規程の改正

1.3.1 日本農業気象学会賞規程	8
1.3.2 編集委員会規程	9
1.3.3 投稿規程	10

1.4 2010 年度一般会計決算報告（案）	11
------------------------	-------	----

1.5 会計監査報告	12
------------	-------	----

— 2010 年度事業報告・一般会計決算報告（案）の承認 —

1.6 2011-2012 年度役員選出状況	13
------------------------	-------	----

2. 審議事項

2.1 2010 年度剰余金処分（案）	14
---------------------	-------	----

— 2010 年度剰余金処分（案）の承認 —

2.2 2011 年度事業計画（案）	15
--------------------	-------	----

— 2011 年度事業計画（案）の承認 —

2.3 2011 年度一般会計予算（案）	18
----------------------	-------	----

— 2011 年度一般会計予算（案）の承認 —

2.4 日本農業気象学会会則改正（案）

2.4.1 会誌「農業気象」の英文化に関する会則（第 2 章 事業 第 5 条）改正（案）	19
---	-------	----

— 会誌「農業気象」の英文化に関する会則（第 2 章 事業 第 5 条）改正（案）の承認 —

2.4.2 終身会費制度に関する会則（第 4 章 会員 第 8 条）改正（案）	19
---	-------	----

— 終身会費制度に関する会則（第 4 章 会員 第 8 条）改正（案）の承認 —

2.4.3 会員名簿に関する会則（第 4 章 委員会 第 10 条）改正（案）	20
---	-------	----

— 会員名簿に関する会則（第 4 章 委員会 第 10 条）改正（案）の承認 —

総会議長選出

閉 会

1. 2010 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 学会賞審査委員長に互選で林陽生会員が就任
- 2) 総務理事の交代（任期満了）：富士原和宏会員 → 菅野洋光会員
- 3) 永年功労会員表彰審査委員の交代：平木永二会員 → 大場和彦会員
- 4) 編集委員の追加：丸山篤志会員

1.1.2 会員数の動向（2011 年 1 月 13 日現在）

正会員	465 (内外国 4)	(-72)
シルバー会員	30	(+9)
学生会員	39 (内外国 1)	(-6)
ポスドク会員	15(内外国 1)	(+12)
購読会員	109 (内外国 3)	(-9)
賛助会員	24	(-5)
名誉会員	6	(0)
海外特別会員	72	(0)
合計	760	(-71)

() 内は、2010 年 1 月 19 日時点と比較した増減数

1.1.3 研究集会・会議等の開催

- 1) 2010 年全国大会：2010 年 3 月 17 日～19 日に名城大学で開催
- 2) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2010：2010 年 3 月 17 日～19 日に名城大学で開催
- 3) 2010 年度総会：2010 年 3 月 17 日に名城大学で開催
- 5) 2009 年度評議員会：2010 年 3 月 17 日に名城大学で開催
- 6) 2010 年度理事会：2010 年 3 月 17 日に名城大学、6 月 9 日に東京大学農学部、9 月 1 日に東北農業研究センター、12 月 8 日に東京大学農学部で開催
- 7) 温暖化フォーラム東北：2010 年 9 月 2 日に東北農業研究センターで開催（参加者 26 名）

1.1.4 各種事業の推進

- 1) 学会活動の活性化
 - (1) 新規会員獲得のためのパンフレットを作成し、広報活動を行った
 - (2) 会員サービスとして、メーリングリストを利用した事務連絡等の実施（農業気象学会メール広報）
 - (3) セミナーや講演会の企画あるいは講師の派遣を通じて学会活動をアピールするために「出前講座」を立ち上げた
 - (4) 会員数維持のために、終身会費制度の導入を検討した
 - (5) ホームページを通じて積極的に情報提供を行った
- 2) 学会誌等の出版
 - (1) 会誌「農業気象」：第 66 巻 1 号～第 66 巻 4 号

- (2) 会誌「生物と気象」：第9巻 (<http://www.soc.nii.ac.jp/agrmet/sk/2010/sk10.html>)
- (3) 会誌「農業気象」掲載論文の Journal@rchive における電子化作業の実施
(http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=agrmet1943)
- 3) 「農業気象」の英文誌化「Journal of Agricultural Meteorology」および「生物と気象」の電子媒体化
- 4) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 5) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 6) 日本農学賞等の受賞候補者の推薦：日本農学賞に，農業情報学会と共同で大政謙次副会長を推薦，日本農業工学会フェローに早川誠而会員を推薦
- 7) 支部大会等の推進（別表「支部活動報告」の通り）
- 8) 「研究部会」，「若手研究者の会」等の推進（別表「研究部会活動報告」の通り）
- 9) 若手会ホームページの創設
- 10) 温暖化フォーラムの設立（第1回温暖化フォーラムを「温暖化フォーラム東北」として2010年9月2日に東北農業研究センターで開催）
- 11) 特別委員会の開催
- 12) 日本農学会，日本農業工学会，農業環境工学系学会連盟，日本地球惑星科学連合の活動を推進，日本学術会議関連の活動に協力，学術会議ニュースの理事への配信
- 13) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- (1) 第20回 SHITA シンポジウム（2010年1月22日，中央大学駿河台記念館）を協賛
- (2) 第56回風に関するシンポジウム（2010年3月18日，京都大学防災研）を共催
- (3) 日本学術会議公開シンポジウム「植物工場における自動化・情報化技術の展望」（2010年4月27日，日本学術会議）を後援
- (4) 生態工学会2010年度・年次大会（2010年5月14日～15日，沖縄県農業研究センター）を協賛
- (5) 日本流体力学会 年会2010（2010年9月9日～11日，北海道大）を協賛
- (6) 第4回国際 O-CHA 学術会議（2010年10月26日～28日，静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」）を後援
- (7) 2010年度生態工学定例シンポジウム「日本の未来を担う技術開発－食糧生産，宇宙開発，環境・エネルギー」（2010年11月5日，東京大学 弥生講堂 一条ホール）を協賛
- (8) アグロイノベーション2010（2010年11月24日～26日，幕張メッセ）を協賛
- (9) 公開シンポジウム「太陽光植物工場-より幅広い深化にむけて-」（2010年11月29日，日本学術会議）を後援
- (10) 第21回風工学シンポジウム（2010年12月1日～3日，東京大学山上会館）を協賛
- (11) 農研機構シンポジウム「農業は気候変動リスクとどう向き合えるのか？－新たな気象情報と早期警戒システムの将来－」（2010年12月1日，東京国際フォーラム）を協賛
- 14) 各種賞について会員へ推薦依頼，各種公募研究の案内
- 15) 2011年全国大会の企画
- 16) 新しい学会賞賞牌の製作を検討（東京造形大学非常勤教員・藤井浩一朗氏に依頼）
- 17) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

1.1.5 編集委員会活動報告

1) 編集委員会の開催

第1回 2010年3月18日, 名城大学天白キャンパス共通講義棟北

第2回 2010年6月4日, 大阪大学コンソーシアム大阪

第3回 2010年8月28日, 大阪大学待兼山会館

第4回 2010年11月27日, 大阪大学待兼山会館

2) 「農業気象」, 「生物と気象」の発行

「農業気象」66巻1~4号

研究論文14編(うち英文12編), 短報8編(うち英文7編), 資料1編(うち英文0編)

「生物と気象」10巻(電子化して学会ホームページ上で公開)

講座4編, 書評5編, 支部報告4編, 学会賞受賞講演要旨4編

3) J-Stage で公開

「農業気象」を <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/agrmet/-char/ja/> で公開

1.1.6 学会賞審査委員会報告

2010年9月15日締め切りで, 2010年度日本農業気象学会賞の受賞候補者を公募し, 正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査。2010年12月9日付で, 林学会賞審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2011年1月20日に下記の会員の受賞が決定した。

学術賞: 広田知良 会員 「寒地農業に及ぼす気候変動・温暖化の影響解析・評価と適応対策に関する研究」

普及賞: 星 岳彦 会員 「温室用ユビキタス環境制御システムの開発・普及」

論文賞: 植山雅仁 会員 「A technique for high-accuracy flux measurement using a relaxed eddy accumulation system with an appropriate averaging strategy」農業気象 65(4), 315-325 (2009)

論文賞: 岡田将誌 会員 「A climatological analysis on the recent declining trend of rice quality in Japan」農業気象 65(4), 327-337 (2009)

奨励賞: 伊達尚史 会員 「Satellite observations of decadal scale CO₂ fluxes over black spruce forests in Alaska associated with climate variability」農業気象 65(1), 47-60 (2009)

奨励賞: 永谷 結 会員 「新宿御苑における冷気移動の解析」農業気象 64(4), 281-288 (2008)

奨励賞: 丸岡知浩 会員 「わが国のサクラ(ソメイヨシノ)の開花に対する地球温暖化の影響」農業気象 65(3), 283-296 (2009)

1.1.7 永年功労会員表彰審査委員会報告

2010年8月2日, 各支部に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2010年9月27日の締め切りで推薦のあった候補者を永年功労会員表彰審査委員会で審査。2010年11月25日付で, 及川永年功労会員表彰審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2011年1月20日に下記の会員の受賞が決定した。

九州支部推薦: 小林哲夫 会員

九州支部推薦: 田中 明 会員

1.1.8 特別委員会等の設置および活動

1) 学会の在り方委員会（委員長：大政謙次副会長）

- (1) 編集委員会と合同で学会誌のあり方について討議した。
- (2) 温暖化フォーラムの設置についての提案を行った。

2) 企画講演委員会（委員長：星岳彦理事）

2010年全国大会の公開シンポジウム「植物工場の技術革新に果たす農業気象学の役割」および公開講座「園芸施設へのヒートポンプ利用」を企画。報道機関等約100機関にプレス発表し、非会員の一般参加を促し、会員増につなげる活動を実施した。3月18日の公開シンポジウム記帳参加者155名、3月18日の公開講座記帳参加者123名であった。

3) 広報・企業担当委員会（委員長：青木正敏副会長）

2010年11月26日に農業気象学会セミナー「地球温暖化に関連する気象現象のセンシング」を東京ビッグサイトで日本農業気象学会主催、センシング・モニタリング技術研究部会共催で開催（講演5題、参加者21名）。学会宣伝用のチラシを作成し、学会ホームページに掲載した。また、学会宣伝用ポスターを検討し、ポスター図案を公募した。

4) ホームページ担当委員会（委員長：皆巳幸也理事）

情報誌（生物と気象）、大会・研究会情報、各種お知らせ等のホームページへの掲載。若手会のホームページの創設

5) （ハンドブック）出版委員会（委員長：小林和彦理事）

「温度の正しい測り方」シリーズ3編（岡田益己著）を「生物と気象」に掲載。

1.1.9 関連学協会委員

日本農学会	評議員：岡田益己会長，運営委員：吉本真由美理事
日本農業工学会	理事：真木太一顧問，代議員：細井文樹会員，国際代議員：青木正敏副会長
農業環境工学系学会連盟	委員：岡田益己会長，青木正敏副会長
日本地球惑星科学連合	学会長会議員：岡田益己会長，窓口委員・プログラム委員：鳥谷均会員
地理関連学会連合	オブザーバー：山川修治会員

1.1.10 支部活動報告

支部名	研究会・講演会・出版物	会員 (2010年1月19日現在)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 10 件, シンポジウム「寒地土木研究所における農業気象研究」, 総会) : 2010 年 12 月 6 日, (独) 土木研究所 寒地土木研究所, 参加者約 50 名 「北海道の農業気象」第 62 号 	正会員 : 44 シルバー会員 : 0 学生・ポストドク会員 : 5 購読会員 : 8 合計 : 57
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 東北支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 北里大学獣医畜産学部にて 2010 年 8 月 19 日～20 日に開催 「東北の農業気象」第 55 号を 3 月に発行 	正会員 : 43 シルバー会員 : 1 学生・ポストドク会員 : 3 購読会員 : 9 合計 : 56
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 6 件, シンポジウム「地球気候変動が農作物生産に及ぼす影響」, 施設見学 (宇都宮大学 雑草科学研究センター), 総会) : 2010 年 11 月 5 日, 宇都宮大学 峰キャンパス (宇都宮市), 参加者 25 名 「関東の農業気象」第 36 号 	正会員 : 213 シルバー会員 : 3 学生・ポストドク会員 : 19 購読会員 : 31 合計 : 266
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 4 件, シンポジウム「農業気象研究とモデル化 (第 3 回)」, 総会) : 2010 年 11 月 12 日, 石川県立大学 (石川県野々市町), 参加者 15 名 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 35 号 	正会員 : 14 シルバー会員 : 0 学生・ポストドク会員 : 0 購読会員 : 6 合計 : 20
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 夏期集会 : 2010 年 9 月 23～24 日 (情報交換、田原市内生産地見学、野茶研武豊施設見学、セミナー : 参加者 11 名) 近畿支部・東海支部合同大会 (研究発表 11 件, 特別講演 4 件 : 2010 年 12 月 11～12 日, 国民宿舎 紀州路みなべ, 参加者 35 名) 「東海支部会誌」第 69 号 	正会員 : 36 シルバー会員 : 2 学生・ポストドク会員 : 2 購読会員 : 7 合計 : 47
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 近畿支部・東海支部合同大会 (研究発表 11 件, 特別講演 4 件 : 2010 年 12 月 11～12 日, 国民宿舎 紀州路みなべ, 参加者 35 名) 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」第 3 号【近畿支部・東海支部合同大会特集】 	正会員 : 50 シルバー会員 : 6 学生・ポストドク会員 : 2 購読会員 : 15 合計 : 73
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 30 件, シンポジウム「温暖化時代のナシ栽培の将来」(鳥取県農業気象協議会と共催), 総会) : 2010 年 12 月 16～17 日, 白兔会館, 参加者約 80 名 「中国・四国の農業気象」第 23 号 	正会員 : 57 シルバー会員 : 4 学生・ポストドク会員 : 7 購読会員 : 19 合計 : 87
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (日本生物環境工学会九州支部と共催, 研究発表 33 件, シンポジウム「九州の果樹生産の今日的課題」, 総会, 見学会) : 2010 年 11 月 12～13 日, 別府市つるみ荘, 参加者約 70 名 「九州の農業気象Ⅱ輯」19 号 公開シンポジウム「地球温暖化の農業・地域への影響と適応策」(日本学術会議農業生産環境工学分科会主催, 2011 年 1 月, 九大箱崎キャンパス国際ホール, 後援) 	正会員 : 41 シルバー会員 : 5 学生・ポストドク会員 : 7 購読会員 : 21 合計 : 74

1.1.11 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・細井 文樹 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	学会誌"J. Agric. Meteorol."のリモートセンシング・GIS 研究部会特集号の編集
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003年7月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 E-mail: kuwa@affrc.go.jp	日本農業気象学会 2011年全国大会にて、オーガナイズドセッション「2010年夏季異常高温が水稲生産など農業に及ぼした影響」を農業気象災害リスクマネジメント研究部会と共同開催（2011年3月16日、鹿児島大学農学部）
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	日本農業気象学会 2010年全国大会にて「園芸施設へのヒートポンプ利用」と題した公開講座に企画協力
センシング・モニタリング 技術研究部会 部会長：青木正敏 設立：2008年6月	〒136-0075 江東区新砂 1-7-5 東京都環境科学研究所調査研究科 横山 仁 Tel: 03-3699-1331, Fax: 03-3699-1345 E-mail: yokoyama-h@tokyokankyo.jp	日本農業気象学会セミナー「地球温暖化に関連する気象現象のセンシング」を、2010年11月26日に、東京ビッグサイトにおいて、日本農業気象学会主催、センシング・モニタリング技術研究部会共催で開催
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 農業気象災害研究チーム 大野宏之 Tel: 029-838-8418, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	生態系プロセス研究部会のと共催により、日本農業気象学会 2011年全国大会においてオーガナイズドセッション「2010年夏季異常高温が水稲生産など農業に及ぼした影響」を開催
若手研究者の会	〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院 平田竜一 Tel: 011-706-4175 E-mail: ryuhirat@env.agr.hokudai.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業気象学会2010年全国大会において、オーガナイズドセッション「若手研究者から見た農業気象学」を開催 ・ ホームページ開設 (http://wwwsoc.nii.ac.jp/agrmet/wakate/index.html) ・ 「生物と気象」に「若手研究者の会の活動履歴（1977年～2010年）（間野・平田）」を投稿

1.2 規程の制定

1.2.1 研究部会規程

研究部会規程

1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(1)に基づき本規程を設ける。
2. 研究部会は, ある特定の研究領域または研究課題に対して期限をもって活動し, 農業気象学会の発展・活性化に寄与する。
3. 研究部会は, 目的・必要性を明記した申請書と賛同する学会員15人以上の署名を学会長に提出し, 理事会の承認を経て設立される。
4. 研究部会の活動期限は3年間とする。ただし, 学会長に申請し理事会の承認を受けた場合は継続することができる。
5. 研究部会は, 学会会計から活動費用の補助を発足より3年間に限り受けることができる。ただし, 特別な事由により, 学会長に申請し理事会の承認を受けた場合には, 引き続き2年間受けることができる。
6. 研究部会は全国大会で部会活動のため, 特別に会場の提供を受けることができる。
7. 研究部会は編集規程に定められた長さの研究成果および部会報告を学会誌に無料で掲載することができる。
8. 研究部会は設立の目的を達成するため, 活発に部会活動を行わなければならない。
9. 研究部会は活動状況を毎年学会長に報告し, かつ, 3年に1回以上学会誌に研究成果(総説, 資料など)を掲載しなければならない。

(付則) 本規程は2011年度から適用する。

1.3 規程の改正

1.3.1 日本農業気象学会賞規程

改正前	改正後
<p style="text-align: center;">日本農業気象学会賞規程</p> <ol style="list-style-type: none">1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(3)に基づき本規程を設ける。2. 日本農業気象学会賞は次の会員に贈られる。<ol style="list-style-type: none">(1) 農業気象学・農業気象技術の進歩, 発展に著しく寄与した研究業績をあげた会員(以下この賞を学術賞とよぶ)(2) 農業気象学・農業気象技術の普及, 教育, 啓蒙に著しく貢献のあった会員(以下この賞を普及賞とよぶ)(3) <u>学会の事業活動や学会の運営・発展に著しく貢献した原則として65歳以下の会員</u>(以下この賞	<p style="text-align: center;">日本農業気象学会賞規程</p> <ol style="list-style-type: none">1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(3)に基づき本規程を設ける。2. 日本農業気象学会賞は次の会員に贈られる。<ol style="list-style-type: none">(1) 農業気象学・農業気象技術の進歩, 発展に著しく寄与した研究業績をあげた会員(以下この賞を学術賞とよぶ)(2) 農業気象学・農業気象技術の普及, 教育, 啓蒙に著しく貢献のあった会員(以下この賞を普及賞とよぶ)(3) <u>学会の学術的發展や運営に著しく貢献した原則として65歳以下の会員</u>(以下この賞を功績賞と

<p>を功績賞とよぶ)</p> <p>(4) 顕著に優れた研究論文が本学会誌に掲載された 会員 (以下この賞を論文賞とよぶ)</p> <p>(5) 優れた研究論文が本学会誌に掲載された 30 歳 以下 (審査年度の 4 月 1 日現在) の会員 (以下こ の賞を奨励賞とよぶ)</p> <p style="text-align: center;">[中略]</p> <p>(付則) 本規程は平成 22 年度から適用する。</p>	<p>よぶ)</p> <p>(4) 顕著に優れた研究論文が本学会誌に掲載された 会員 (以下この賞を論文賞とよぶ)</p> <p>(5) 優れた研究論文が本学会誌に掲載された 30 歳 以下 (審査年度の 4 月 1 日現在) の会員 (以下こ の賞を奨励賞とよぶ)</p> <p style="text-align: center;">[中略]</p> <p>(付則) 本規程は2011 年度から適用する。</p>
---	--

1.3.2 編集委員会規程

改正前	改正後
<p>編集委員会規程</p>	<p>編集委員会規程</p>
<p>1. 会則第 1 章第 4 条 2, 第 2 章第 5 条に基づき本規程 を設ける。</p> <p>2. <u>会誌「農業気象」編集のため農業気象編集委員会を 設ける。</u></p> <p>3. 編集委員は理事会の議をへて会長がこれを委嘱す る。委員長および副委員長は委員の互選による。</p> <p>4. 編集委員の任期は 2 年とし、連続して 2 期を越えて はならないものとする。補充による委員の任期は残 任期間とする。</p> <p>5. 編集委員の選出にあたっては委員の専門分野が片 寄らないよう配慮する (例えば, 農業気象災害, 農 業気候, 気象生態, 微気象, 施設気候, 気候改良, 測器などの各分野から選出するようにする)。</p> <p>6. 編集規程および投稿規程は別に定める。これを改正 する場合は理事会に報告し承認を受けなければならない。 (付則) 本規程は平成 11 年度から適用する。</p>	<p>1. 会則第 1 章第 4 条 2, 第 2 章第 5 条に基づき本規程 を設ける。</p> <p>2. <u>”Journal of Agricultural Meteorology”および「生物 と気象」編集のため農業気象編集委員会を設ける。</u></p> <p>3. 編集委員は理事会の議をへて会長がこれを委嘱す る。委員長および副委員長は委員の互選による。</p> <p>4. 編集委員の任期は 2 年とし、連続して 2 期を越えて はならないものとする。補充による委員の任期は残 任期間とする。</p> <p>5. 編集委員の選出にあたっては委員の専門分野が片 寄らないよう配慮する (例えば, 農業気象災害, 農 業気候, 気象生態, 微気象, 施設気候, 気候改良, 測器などの各分野から選出するようにする)。</p> <p>6. <u>特集号の編集等のため, 若干名の特別編集委員を置 くことができる。特別編集委員の内, 1 名以上は本 学会の会員でなければならない。特別編集委員は編 集委員長が委嘱し, 理事会へ報告する。特別編集委 員の任期は, 委嘱日より担当する特集号等の刊行日 までとする。</u></p> <p>7. 編集規程および投稿規程は別に定める。これを改正 する場合は理事会に報告し承認を受けなければならない。 (付則) 本規程は2010 年 12 月 8 日から適用する。</p>

1.3.3 投稿規程（「Journal of Agricultural Meteorology」と「生物と気象」）

Journal of Agricultural Meteorology (旧「農業気象」)投稿規定改正概要 (2011年1月1日)

項目	旧規定	新規定	条項
原稿種類	原著論文（研究論文，短報） 総説 論説 資料 討論	原著論文（研究論文，短報） 総説 × 資料 討論	4
言語	日本語または英語	英語	5
出版料金	研究論文，総説：30,000円 短報：20,000円 超過料金：13,000円/P（1~2P） 18,000円/P（3P以上）	筆頭著者が会員 研究論文，総説，資料：40,000円 短報：20,000円 筆頭著者が非会員 研究論文，総説，資料：60,000円 短報：30,000円 超過料金15,000円/P	6
シニア会員特典	別刷り50部無料進呈	×	8

「生物と気象」投稿規定改正概要 (2011年1月1日)

項目	旧規定	新規定	条項
原稿種類	(A) 講座・解説・研究トピック (B) 研究部会報告 (C) 書評・新刊紹介 (D) 国内外の会議報告・海外報告 (E) 支部報告 (F) 学会賞受賞講演要旨 (G) 学会記事 (H) 会員の声（あるいは「寄稿」など） (I) その他	(1) 原著論文（研究論文，短報） (2) 総説 (3) 論説・資料・討論 (A) 講座・解説・研究トピック (B) 研究部会報告 (C) 書評・新刊紹介 (D) 国内外の会議報告・海外報告 (E) 支部報告 (F) 学会賞受賞講演要旨 (G) 学会記事 (H) 会員の声（あるいは「寄稿」など） (I) その他	4
言語	「農業気象」に準ずる	日本語（ただし論文要旨は英文）	5
出版料金	無料	筆頭著者が会員 研究論文，総説，資料：20,000円 短報：10,000円 筆頭著者が非会員 研究論文，総説，資料：30,000円 短報：15,000円 超過料金7,500円/P	6
原稿提出	(原稿作成要領)	(1)~(3)：J-Stage オンライン投稿システムまたは郵送 (A)~(I)：電子媒体	8

1.4 2010年度一般会計決算報告(案)

2010年度一般会計決算(案)

1. 収入

科目	予算	決算	備考
学会費	6,386,500	5,957,120	
正会員	4,275,500	3,964,500	
シルバー会員	105,000	149,500	
学生・ポスドク会員	184,000	194,000	
購読会員	952,000	929,120	
賛助会員	870,000	720,000	
売上金	2,230,000	2,182,685	
養賢堂(含む書店)	400,000	374,400	
掲載料・別刷り	1,800,000	1,779,935	
バックナンバー	30,000	28,350	
雑益費	861,500	1,065,784	
広告料	257,500	178,750	
利息	4,000	3,908	
その他	600,000	883,126	¥575,000+250,000+複写権利他
前年度繰越金	403,108	403,108	
単年度合計	9,478,000	9,205,589	
合計	9,881,108	9,608,697	

雑益費その他: ¥575,000-は農業関連工学会2009より(¥500,000は2009年分担当金の返却、¥75,000は寄付) ¥250,000は2010年大会事務局より返金
 収入は前年よりも約266万円減少(売上金が230万円、学会費収入は、前年よりも56万円少ない、昨年の売上金は予算額よりも220万円多かった)。収入の減少は学会費の収入減の影響が大きい。会員数が減少傾向にあること、会費未納者が多い(80万円程度と想定)ことがその原因である。単年度の収支は3,111,863円の黒字となった。

収入合計	9,205,589
支出合計	6,093,726
収支差異	3,111,863
剰余金	3,514,971

2. 支出

科目	予算	決算	備考
学会誌発行業務	4,850,000	3,508,190	農業気象88(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	3,200,000	2,185,995	
発送費	300,000	241,005	
編集費	850,000	691,950	養賢堂
編集委員会経費	500,000	389,240	2010年度旅費(事務費3万含)
総大会費	300,000	250,000	
大会運営費	250,000	250,000	
大会事務費	50,000	0	
学会賞費	620,000	262,066	賞牌作製費、受賞者懇親会費
会計業務委託費	1,002,000	923,102	
会員業務	600,000	545,102	会員管理(@580*772)、発送等手数料
会計業務	252,000	252,000	(会計業務、月額@20000*12)
窓口・その他業務	150,000	126,000	(窓口業務、月額@10000*12)
理事会開催費	500,000	263,375	理事会旅費他
庶務理事経費	58,000	34,563	
会計理事経費	60,000	56,960	(振込手数料・ファクシ手数料含)
支部補助費	420,000	417,900	単価700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	50,000	
リモートセンシング・GIS研究会	0	0	
生態系プロセス研究会	0	0	
園芸工学研究会	0	0	辞退
農業気象リスクマネジメント研究会	0	0	辞退
センシング・モニタリング技術研究会	0	0	辞退
若手研究者の会	50,000	50,000	
渡航費補助	100,000	0	5万円*2名
関連団体分担金	140,000	231,600	
日本地球惑星科学連合	10,000	10,000	
日本農学会費	80,000	81,600	
日本農業工学会費	50,000	40,000	
CIGR分担金	0	100,000	
単年度支出	8,100,000	5,997,756	
名簿作成費用	120,000	95,970	
予備費	1,681,108	0	予備費の内、学会費の遡り分が80万円程度と想定。
合計	9,881,108	6,093,726	

資産の部

現金	会計理事預り分	0
普通預金	三井住友	2,890,671
"	みずほ	8,028,178
振替口座	ゆうちょ銀行	6,911,338
定期預金	三井住友	2,172,109
資産の部計		20,002,296

負債の部

未払金	養賢堂へ	2,246,307
未払金	理事会旅費未払分	232,790
未払金	会計理事立替分	8,148
負債の部計		2,487,245



財産の部

学会基金	7,000,000
事業準備金	7,000,000
剰余金	3,514,971
(前年度繰り越し¥403,108+単年度収支¥3,111,863)	
財産の部計	17,514,971

平成 23 年 2 月 28 日

会計監査報告

日本農業気象学会
会長 岡田益己 殿

日本農業気象学会
会計監査 寺添 斉 
奥島里美 

日本農業気象学会 2010 年度（2010 年 1 月 1 日～2010 年 12 月 31 日）予算の執行に関し、五十嵐大造会計理事より提出された会計書類について、質疑応答を交えながら監査を実施した。その結果、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認したことから、当該予算が適正に執行されていたものと認める。

会計監査におけるコメント

1. 単年度収支は昨年に引続き黒字となっているが、会員数の減少がみられることから収入の安定化に留意し、これまでどおり単年度でバランスのとれた予算計画を立てられたい。
2. 学会会計の安定化については、既会員の適切な会費納入とともに会員活動の充実による会員数の増加が重要と考えられる。そのための方策について、理事会や各委員会、支部などで検討していただきたい。

1.6 2011-2012 年度役員選出状況

1) 選挙管理委員会の設置

今 久関東支部長，石神靖弘会員，大野宏之理事を委員とする選挙管理委員会を組織。

2) 次期役員等名簿（敬称略）

会長 岡田益己

副会長 大政謙次，小林和彦

支部長 北海道：平野高司，東北：皆川秀夫，関東：青木正敏，北陸：関 平和，東海：田中逸夫，
近畿：北宅善昭，中・四国：山本晴彦，九州：北野雅治

理事（支部選出） 北海道：廣田知良，東北：菅野洋光（総務正），関東：青木正敏，富士原和宏，林 陽生，
北陸：皆已幸也（ホームページ担当委員長），東海：林真紀夫，近畿：町村 尚，
中・四国：菅谷 博（表彰），九州：小沢 聖

理事（会長指名） 平野高司（総務副），松島 大（編集-論文審査副），中屋 耕（編集-出版副），
佐々木華織（会計正），五十嵐大造（会計副），吉本真由美（庶務正），
横山 仁（庶務副・選挙管理）

評議員 北海道：浦野慎一，谷 宏，東北：鮫島良次，皆川秀夫，関東：桑形恒男，後藤英司，佐瀬勘紀，
高田吉治，鳥谷 均，西森基貴，松岡延浩，宮田 明，横沢正幸，北陸：横山宏太郎，
東海：高市益行，大須賀隆司，近畿：青野靖之，川島茂人，谷 誠，中・四国：荊木康臣，大上博基，
黒瀬義孝，九州：石黒悦爾，大場和彦，脇山恭行

監査 奥島里美，彦坂晶子

学会賞審査委員会 小沢 聖（委員長），菅野洋光，北野雅治，北宅善昭，黒瀬義孝，後藤英司，鮫島良次，
関 平和，林 陽生，平野高司，富士原和宏，皆川秀夫

永年功労会員表彰審査委員会 堀江 武，及川武久，真木太一，松村伸二，原菌芳信，武政剛弘，田中逸夫，
伊藤大雄，王 秀峰，小南靖弘

編集委員会 北野雅治，黒瀬義孝，松島 大，松岡延浩，中屋 耕，井上 聡，鮫島良次，大石直記，小杉緑子，
森 牧人，脇山恭行，細井文樹，奥島里美，金 元植，石郷岡靖史，中野智子，西森基貴，
柴田昇平，間野正美，高橋行継

2. 審議事項

2.1 2010年度剰余金処分（案）

2010年度剰余金処分(案)

- (1) 2010年度剰余金は、3,514,971円となった。3,000,000円を剰余金として処分、514,971円を2011年予算繰越金とする。
- (2) 2010年度の一般会計から学会基金へ1,500,000円を支出する。
- (3) 2010年度の一般会計から事業準備金へ1,500,000円を支出する。
- (4) この結果、学会基金は8,500,000円、事業準備金は8,500,000円、一般会計繰越金514,971円となる。

2010年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	7,000,000	
事業準備金	7,000,000	
	14,000,000	

2011年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	8,500,000	
事業準備金	8,500,000	
	17,000,000	

2.2 2011 年度事業計画（案）

- 1) 学会活動の活性化
 - (1) 会員数維持および学生会員獲得のための方策の検討および実施
 - (2) 経費の一層の節減および収入増のための方策の検討および実施
 - (3) インターネットを活用した会員サービスの向上
 - (4) 広報活動の促進のための方策の検討および実施
- 2) 2011 年全国大会の開催：2011 年 3 月 15 日～19 日に鹿児島大学（鹿児島市）で開催
- 3) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2011: 2010 年 3 月 16 日～19 日に鹿児島大学（鹿児島市）で開催
- 4) 2011 年度総会の開催：2011 年 3 月 17 日に鹿児島大学（鹿児島市）で開催
- 5) 2010 年度評議員会の開催：2011 年 3 月 17 日に鹿児島大学（鹿児島市）で開催
- 6) 2011 年度理事会の開催：東京大学農学部，他
- 7) 会誌「Journal of Agricultural Meteorology」の発行（第 67 巻 1 号～第 67 巻 4 号）
- 8) 会誌「生物と気象」の発行，第 11 巻（電子化してホームページ上で公開）
- 9) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 10) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 11) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 12) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）
- 13) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）
- 14) 特別委員会の開催
- 15) 温暖化フォーラムの開催
- 16) 日本農学会の活動を推進
- 17) 日本農業工学会の活動を推進
- 18) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進
- 19) 日本学術会議関連の活動に協力
- 20) 日本地球惑星科学連合の活動を推進
- 21) 地理関連学会連合の活動に協力
- 22) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- 23) 受託研究の受け入れ
- 24) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流の推進
- 25) 学会の活動方向の検討
- 26) 東アジアを中心とした国際的連携の強化
- 27) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名	研究会・講演会・出版物	会員（2011年1月13日現在）
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，講演会，総会）：日時・場所未定 「北海道の農業気象」第63号発行予定 	正会員：37 シルバー会員：0 学生・ポスドク会員：8 購読会員：8 合計：53
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 東北支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：山形県にて開催予定。日時は未定。 「東北の農業気象」第56号発行予定 	正会員：42 シルバー会員：2 学生・ポスドク会員：0 購読会員：9 合計：53
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：日時・場所未定 「関東の農業気象」第37号発行予定 	正会員：199 シルバー会員：8 学生・ポスドク会員：24 購読会員：28 合計：259
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2011年11月中旬，富山県立大学において園芸学会北陸支部大会と共同開催の予定（富山県射水市） 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第36号発行予定 	正会員：13 シルバー会員：0 学生・ポスドク会員：0 購読会員：5 合計：18
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2011年12月初旬，静岡県担当 「東海支部会誌」第70号発行予定 	正会員：36 シルバー会員：3 学生・ポスドク会員：1 購読会員：6 合計：46
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会：2011年11月（予定），大阪府立大学（堺市）（予定） 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第4号発行予定 	正会員：47 シルバー会員：6 学生・ポスドク会員：6 購読会員：14 合計：73
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，総会）：2011年12月11日～12日，香川大学（予定） 「中国・四国の農業気象」第24号発行予定 	正会員：51 シルバー会員：5 学生・ポスドク会員：7 購読会員：16 合計：79
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 2011年全国大会およびISAM2011（2011年3月，鹿児島大学農学部）を実施 支部大会（日本生物環境工学会九州支部と共催予定，見学会，研究発表，シンポジウム，総会）：2011年11月，佐賀市にて開催予定 「九州の農業気象Ⅱ輯」20号発行予定 	正会員：36 シルバー会員：6 学生・ポスドク会員：6 購読会員：20 合計：68

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・細井 文樹 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	学会誌"J. Agric. Meteorol."のリモートセンシング・GIS 研究部会特集号の編集。オーガナイズドセッション（大 会開催時）およびセミナー（随時）を開催予定
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003年7月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 E-mail: kuwa@affrc.go.jp	・ワイン・チャレンジ シンポジウム（仮称、2011年5 月開催予定）を後援予定 ・"J. Agric. Meteorol."の特集号（67巻4号）を企画予定 ・農業気象学会全国大会にて研究会またはオーガナイズ ドセッションを企画する可能性あり
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	日本農業気象学会 2011年全国大会にて「Transys 勉強会 ーGoogle SketchUpで遊ぼうー」と題したオーガナイズ ドセッションを共催予定
センシング・モニタリング 技術研究部会 部会長：青木正敏 設立：2008年6月	〒136-0075 江東区新砂 1-7-5 東京都環境科学研究所調査研究科 横山 仁 Tel: 03-3699-1331, Fax: 03-3699-1345 E-mail: yokoyama-h@tokyokankyo.jp	温暖化や極端気象に対応したセンシング・モニタリング に関する講演会を開催予定。ただし、2011年大会では開 催予定なし
農業気象リスクマネジメン ト研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 農業気象災害研究 チーム 大野宏之 Tel: 029-838-8418, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	日本農業気象学会 2012年全国大会において当該年度に おける農業気象災害をレビューするセッションを企画予 定。また、気象災害に関するデータベースを発足させる 予定
若手研究者の会	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 松田 怜 Tel: 03-5841-5355 E-mail: amatsuda@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	農業気象学会 2011年全国大会において、特別セッション 「温故維新」に協力予定

2.3 20011 年度一般会計予算 (案)

2011年度一般会計予算(案)

1. 収入

科目	予算	備考
学会費	5,910,500	(2011年1月で計算)
正会員	3,952,500	¥8,500*465
シルバー会員	150,000	¥5,000*30名
学生・ポスドク会員	216,000	¥4,000*54名
購読会員	872,000	¥8,000*109名
賛助会員	720,000	¥30,000*24名
売上金	2,430,000	
養賢堂(含む書店)	400,000	
掲載料・別刷り	2,000,000	学会誌刷新で増
バックナンバー	30,000	
雑益費	29,000	
利息	4,000	
その他	25,000	複写権料(2010年実績を基に)
前年度繰越金	514,971	
単年度合計	8,369,500	
合計	8,884,471	

広告掲載がなくなり、広告料は¥0とした=雑益費から項目を削除した。オンラインジャーナル化に伴い、学会誌発行業務の項目を加えた。売上金(掲載料)は「Journal of Agricultural Meteorology」は20報程度、「生物と気象」は10報として算出。現在利用のホームページサーバー(¥0)が平成24年3月にて閉鎖のため、その準備金として¥65,000計上。

2. 支出

科目	予算	備考
学会誌発行業務	4,674,000	
印刷・製本・別刷り費	2,200,000	農業気象65(1)-(4)を参考に
発送費	250,000	
編集費	850,000	(養賢堂)
編集委員会経費	500,000	
オンラインジャーナル		生物と気象
組み版・レイアウト	704,000	
編集費	170,000	(養賢堂)
総大会費	300,000	
大会運営費	250,000	
大会事務費	50,000	
学会賞費	620,000	賞牌作製費、受賞者懇親会費
会計業務委託費	882,600	
会員業務	480,600	会員管理(¥560*760)、発送等手数料
会計業務	252,000	(会計業務、月額¥20000*12)
窓口・その他業務	150,000	(窓口業務、月額¥10000*12)
ホームページ運営費	65,000	レンタルサーバー試験、ドメイン管理代金
理事会開催費	500,000	
庶務理事経費	118,000	含:学会ポスター作成費
会計理事経費	60,000	(振込手数料・ファクシミリ手数料含)
支部補助費	380,000	単価700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	
生態系プロセス研究部会	0	
園芸工学研究部会	0	
農業気象リスクマネジメント研究部会	0	辞退
センシング・モニタリング技術研究部会	0	辞退
若手研究者の会	50,000	
渡航費補助	100,000	5万円*2名
関連団体分担金	140,000	
日本地球惑星科学連合	10,000	
日本農学会	80,000	
日本農業工学会	50,000	
単年度支出	7,889,800	
予備費	994,871	予備費の内、学会費の遡分が80万円程度と想定。
合計	8,884,471	

2.4 日本農業気象学会会則改正（案）

2.4.1 会誌「農業気象」の英文化に関する会則（第2章 事業 第5条）改正（案）

提案理由:会誌「農業気象」を英文化し、その正式名称を「Journal of Agricultural Meteorology」と変更したこと
にともない、会則を改正する必要性が生じた。

現 行	改正案
<p>第2章 事業</p> <p>第5条（事業）</p> <p>(2) 会誌「<u>農業気象（英文名Journal of Agricultural Meteorology）</u>」および「<u>生物と気象（英文名Climate in Biosphere）</u>」の発行</p>	<p>第2章 事業</p> <p>第5条（事業）</p> <p>(2) 会誌「<u>Journal of Agricultural Meteorology（農業気象）</u>」および「<u>生物と気象（英文名Climate in Biosphere）</u>」の発行</p>

2.4.2 終身会費制度に関する会則（第4章 会員 第8条）改正（案）

提案理由: 定年を機とした退会を防ぎ、会員数の減少を抑えるために終身会費制度の導入を検討した。本改正は、終身会費制度を会則に明記するためのものである。

改正前	改正後																
<p>第4章 会員</p> <p>第8条（会員）この学会の会員は正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員、賛助会員、海外特別会員および名誉会員とする。</p> <p>（中略）</p> <p>3. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。</p> <table> <tr> <td>正会員</td> <td>8,500 円</td> </tr> <tr> <td>シルバー会員</td> <td>5,000 円</td> </tr> <tr> <td>学生・ポスドク会員</td> <td>4,000 円</td> </tr> <tr> <td>購読会員</td> <td>8,000 円</td> </tr> </table> <p>賛助会員は1口3000円を1口以上</p> <p>4. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き、細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。</p>	正会員	8,500 円	シルバー会員	5,000 円	学生・ポスドク会員	4,000 円	購読会員	8,000 円	<p>第4章 会員</p> <p>第8条（会員）この学会の会員は正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員、賛助会員、海外特別会員および名誉会員とする。</p> <p>（中略）</p> <p>3. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。</p> <table> <tr> <td>正会員</td> <td>8,500 円</td> </tr> <tr> <td>シルバー会員</td> <td>5,000 円</td> </tr> <tr> <td>学生・ポスドク会員</td> <td>4,000 円</td> </tr> <tr> <td>購読会員</td> <td>8,000 円</td> </tr> </table> <p>賛助会員は1口3000円を1口以上</p> <p>4. <u>正会員として20年以上の会員歴を有する59歳以上の会員は、終身会費として70,000円を払い込むことにより、以降の会費を支払うこと無く正会員の特典を得ることができる。なお、59歳以上で支払った会費は、終身会費を上限としてその額から控除される。</u></p> <p>5. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き、細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。</p>	正会員	8,500 円	シルバー会員	5,000 円	学生・ポスドク会員	4,000 円	購読会員	8,000 円
正会員	8,500 円																
シルバー会員	5,000 円																
学生・ポスドク会員	4,000 円																
購読会員	8,000 円																
正会員	8,500 円																
シルバー会員	5,000 円																
学生・ポスドク会員	4,000 円																
購読会員	8,000 円																

(後略)	(後略)
------	------

2.4.3 会員名簿に関する会則（第4章 委員会 第10条）改正（案）

提案理由: 個人情報保護法の観点から、会員名簿を配布することは困難であることが判明した。そのため、会員への会員名簿の配布を中止することとし、会員の特典から「会員名簿の配布」を削除することにした。

改正前	改正後
第4章 会員	第4章 会員
<p>第10条（特典）正会員，シルバー会員および学生・ポストドク会員は外国在住の会員を除き，次の特典がある。</p> <p>(1) 総会に出席してその議事に参加すること。</p> <p>(2) 研究会，講演会，談話会などに出席し，また研究発表並びに討論を行うこと。</p> <p>(3) 会誌の配布を受けること。</p> <p>(4) 会誌に投稿すること。</p> <p>(5) 日本農業気象学会賞の受賞候補者を推薦すること。</p> <p>(6) 日本農業気象学会賞の受賞候補者の推薦を受けること。</p> <p>(7) 会員名簿の配布を受けること。</p> <p>(8) 別に定めるところにより役員を選出すること。</p> <p>2. 外国在住の正会員，シルバー会員および学生・ポストドク会員は，前項（1）から（7）の特典を持っている。</p> <p>3. 購読会員は，会誌の配布を受ける。</p> <p>4. 名誉会員は，前項（1）から（4）および（7）の特典を持っている。</p> <p>5. 賛助会員の特典は細則1に定める。</p> <p>6. 海外特別会員は，前項（2）および（4）の特典を持っている。</p>	<p>第10条（特典）正会員，シルバー会員および学生・ポストドク会員は外国在住の会員を除き，次の特典がある。</p> <p>(1) 総会に出席してその議事に参加すること。</p> <p>(2) 研究会，講演会，談話会などに出席し，また研究発表並びに討論を行うこと。</p> <p>(3) 会誌の配布を受けること。</p> <p>(4) 会誌に投稿すること。</p> <p>(5) 日本農業気象学会賞の受賞候補者を推薦すること。</p> <p>(6) 日本農業気象学会賞の受賞候補者の推薦を受けること。</p> <p>(7) 会員名簿の配布を受けること。</p> <p>(7) 別に定めるところにより役員を選出すること。</p> <p>2. 外国在住の正会員，シルバー会員および学生・ポストドク会員は，前項（1）から（6）の特典を持っている。</p> <p>3. 購読会員は，会誌の配布を受ける。</p> <p>4. 名誉会員は，前項（1）から（4）および（7）の特典を持っている。</p> <p>5. 賛助会員の特典は細則1に定める。</p> <p>6. 海外特別会員は，前項（2）および（4）の特典を持っている。</p>